

冬の感染拡大防止に向けて



気温の低下や積雪の季節を迎え、屋内で窓を閉めた活動が増えます。また、忘年会シーズンを控え、社会経済活動も活発となります。ワクチン接種後に感染する事例（いわゆるブレイクスルー感染）も見受けられることから、感染拡大を回避するために、基本的な感染防止行動を実践しましょう。

基本的な感染防止行動の実践

三密回避



密接



密集



密閉

マスクなし× 大声× 大人数× 近距離× 換気が悪い× 狭い所×

マスク着用



手指消毒



換気



飲食の際は

感染防止を徹底するお店で

短時間 大声出さず

深酒せず 会話の時はマスク

大人数の飲食の際は、よー層注意 !!



外出の際は

発熱や咳など体調が悪い時は、
外出や旅行を控えましょう。



感染リスクの高まる「5つの場面」

飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わりといった場面でも感染が起きやすく、注意が必要です。新型コロナウイルス感染症は、3密（密閉・密集・密接）の環境で感染リスクが高まります。一つの密でも避けて、「ゼロ密」を目指しましょう。

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



(出典:厚生労働省HPより)

24時間通話料無料で相談できる「受診・相談センター」

☎ 0120-568-019

(24時間 通話料無料)

感染症に関する相談について

市立函館保健所 保健予防課 (感染症・難病担当)

(0138) 32-1547 平日8:45~17:30

新型コロナウイルス
感染予防対策等の情報はこちら



市立函館保健所

感染拡大予防
ガイドライン



函館市
コロナ情報



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です

(市立函館保健所 保健予防課 2021年11月調製)